

在職者向け研修のご案内

能力開発セミナー

<事例で匠の工程方案を理解する>

鍛造工程設計におけるCAEの活用

▶セミナーの概要

成形欠陥の事前予測やプレス設備の検討、金型寿命の予測など工程を検討する上では鍛造シミュレータは有効です。本セミナーでは、剛塑性有限要素法を活用した加工中の材料流動をシミュレーションする技術を習得します。加工中の素材流動がどのように成形欠陥につながるのか、工程におけるトラブルを鍛造シミュレータによって可視化したい方におすすめします。

※1日7時間半のコースになります。

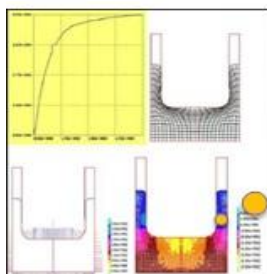
▶カリキュラム概要

1
日目

- (1) 解析の数理
 - ・剛塑性有限要素法について
 - ・工具と材料の表現方法について
- (2) 解析の実際
 - ・工具・素材の定義法
 - ・工具速度条件、摩擦条件
 - ・材料の定義
 - ・そのほか設定
- (3) 解析の実際
 - ・素材流動速度による評価
 - ・鍛流線情報による評価
 - ・金型設計、工程検討への活用

2
日目

- (4) 素材流動の把握
 - ・前方、後方、前後方押出し
 - ・据え込み
 - ・背圧利用鍛造工程 等
- (5) 成形欠陥の把握
 - ・ひけ欠陥
 - ・巻き込み欠陥
 - ・割れ欠陥 等
- (6) まとめ



豊富な素材流動や不具合事例を用いたシミュレーションを行います。

コース番号	TMA08
開催日	令和9年 1/28(木),29(金)
時間	9:00~17:30(合計15H)
受講料	12,500円 (税込)
会場	東北職業能力開発大学校 宮城県栗原市築館字萩沢土橋26
定員	10人 ※先着順
持ち物	筆記用具、電卓
使用機材	AutoCAD

申込締切日

コース開始日の2週間前



受講のお申し込みは、受講申込書(裏面)に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールでお送りください



お問い合わせ先

東北職業能力開発大学校 援助計画課

TEL:0228-22-6615

FAX:0228-22-2432

Mail:tohoku-college03@jeed.go.jp